

臨床研究に関する情報公開のお知らせ（オプトアウト）

旭川赤十字病院 脳神経外科では、以下の臨床研究に参加しております。この研究は、過去に当科で診療を受けられた患者さんの既存の診療情報（カルテ情報など）を用いて行うものです。患者さんに新たな検査や処置をお願いすることはありません。また、患者さんの個人情報厳重に保護され、個人が特定される形で公表されることは一切ありません。

本研究への診療情報の提供を希望されない場合、あるいは研究に関するご質問がある場合は、末尾に記載しております【お問い合わせ窓口】までお申し出ください。お申し出いただいた場合でも、今後の診療において不利益な取り扱いを受けることは一切ありません。

1. 研究課題名

「脳底動脈巨大動脈瘤に対する外科治療の特定サブグループにおける治療成績の検討：後ろ向き観察研究」

2. 研究の意義・目的

脳底動脈巨大動脈瘤に対する外科治療は非常に難易度が高く、より安全で効果的な治療戦略の確立が求められています。近年、動脈瘤ができる細かい解剖学的部位（特定のサブグループ）や選択する術式によって、治療成績に違いがある可能性が示唆されています。本研究では、当院（旭川赤十字病院）で過去に経験した脳底動脈巨大動脈瘤の患者さんのうち、特定の条件（遠位脳底動脈瘤）を満たす20名の患者さんのデータと、主幹施設である小樽中央病院で実施された同条件の1症例のデータを統合して解析を行います。これにより、特定のサブグループにおける治療成績および治療戦略の有効性を詳細に検討し、将来の予後改善に役立てることを目的としています。（※本研究は、当院の脳底動脈巨大動脈瘤全体を対象とした別の研究とデータの一部を共有しますが、特定の部位に絞って異なる目的で解析を行う独立した研究です。）

3. 研究の対象となる患者さん

・2009年1月1日から2026年6月30日の期間に、旭川赤十字病院 脳神経外科において「遠位脳底動脈瘤（脳底動脈巨大動脈瘤）」に対する外科治療を受けられた患者さん（20名）

4. 研究の方法および利用する情報

本研究は、患者さんの過去のカルテ等の記録から必要な情報を抽出し、解析する「後ろ向き観察研究」です。【利用する情報】術式、合併症の有無、神経学的転帰（mRS：治療後の回復状態）、長期予後

5. 個人情報の保護および情報の提供方法

当院で抽出したデータは、患者さんのお名前や住所、カルテ番号など、個人を直接特定できる情報を全て削り取り、代わりに本研究専用の符号（ID番号）をつけた状態（匿名化）にした上で、主幹施設である小樽中央病院に提供され、統合解析されます。誰のデータであるかが分かる対応表は、当院の個人情報管理者が鍵のかかる場所で厳重に保管し、外部（小樽中央病院等）へ提供されることは一切ありません。研究成果が学会や医学雑誌で発表される際にも、患者さん個人が特定されることはありません。

6. 研究組織（情報を共有する機関）

- 主幹施設（情報提供先・データ解析）
 - 小樽中央病院 脳神経外科 鈴木 陽祐（研究責任者）
- 研究分担施設（情報提供元）
 - 旭川赤十字病院 脳神経外科 瀧澤 克己

7. 資金源および利益相反（COI）について

本研究は、特定の企業などからの資金提供を受けずに行うため、研究結果に影響を及ぼすような利害関係（利益相反）はありません。また、本研究の実施にあたっては、各施設の倫理委員会による審査を受け、適切な計画であることが承認されています。

8. 研究への情報の利用を拒否される場合（オプトアウト）

ご自身の（あるいはご家族の）診療情報を本研究に利用されたくない場合は、下記の【お問い合わせ窓口】までご連絡ください。直ちにデータの提供および利用を停止し、破棄いたします。なお、情報の利用を拒否された場合でも、その後の診療においていかなる不利益も受けることはありません。（※ただし、すでに行われた解析結果や、学会・論文等で発表済みのデータにつきましては、データを削除できない場合がありますのでご了承ください。）

利用拒否のお申し出期限：[西暦 2027 年 3 月 31 日] まで

【お問い合わせ窓口】

旭川赤十字病院 脳神経外科

担当医師（本院の研究責任者）：瀧澤 克己

住所：〒070-8530 北海道旭川市曙 1 条 1 丁目 1-1

電話番号：0166-22-8111（代表）

受付時間：平日 [午前 9 時 00 分 ～ 午後 5 時 00 分]

※作成日：西暦 2026 年 7 月 14 日